

ジョアキーノ・レイカさんが御嵩町長表敬訪問を行いました！

【令和8年1月28日】



本校3年次のジョアキーノ・レイカさんが、2月8日(日)に東京都で開催される第18回全国高等学校英語スピーチコンテストに出場することになり、その報告と感謝の気持ちを伝えるため、1月28日(水)に御嵩町の渡辺幸伸町長を表敬訪問しました。レイカさんは、多くの



方々からの応援やご支援に対するお礼と、「不安や厳しい状況にあっても夢をあきらめない」という思いをこめたスピーチをしたい、と全国大会に向けての意気込みを語りました。渡辺町長からは、志を持つことのすばらしさと、大会での素晴らしいスピーチを全面的に



応援します、とのお言葉をいただきました。二村校長からは、お礼に加えて、英語を学び生かせる学校を目指していきたいとの話があり、記念撮影の後、役場の皆様からも激励の言葉をたくさんいただきました。公務ご多忙の中、ありがとうございました。

また、地域の生活情報誌「かにさんくらぶ・2月号」で、記事として取り上げていただきましたので、その一部を紹介します。

●東海北陸大会で優勝できた要因は何だと思いますか？

練習の積み重ねの結果だと思います。間の取り方や人に伝わる話し方などをしっかり指導していただき、校内選抜、地区大会、県大会、東海北陸大会へと進むことができました。

●全国大会ではどんなパフォーマンスがしたいですか？

私のスピーチは「試練よ、かかってこい！」というテーマです。ギリシャ神話に出てくるオデュッセウスのような、さまざまな困難を乗り越えながらも絶対に夢をあきらめないという姿勢に自分を照らし合わせています。私のスピーチを聞いてくださる方々に、夢をあきらめないで一緒に乗り越えていこうと思ってもらえたら嬉しいです。

※「かにさんくらぶ・2月号」より

